

中一国語科通信

第十二回

言葉の魔術師 登場！

みなさん、こんにちは。

前回は、初めて意味調べを課題に出しました。分かれるところをしつかり書き、調べても出てこない類義語があった場合はそこだけ空けておくこともきちんとできていましたね。辞書でがんばって調べてくれた人もいました。

また、今回は意味調べだけではなく、新しく出てきた言葉を使って短文をつくる課題も出しました。新しい言葉が出てきたら、まず辞書で調べることはもちろんですが、これは調べた言葉を定着させるための課題です。今回も、みなさんよく書いていました。

中には、「どう文にしているのか分からなかった。」と書いてくれた人もいました。このように、言葉によっては初めてのものですので、いまいちイメージできない時もあるでしょう。そんな時、教室では短文づくりが得意な人が手本を示すことで、分からなかった人にもイメージしやすい状態をつくっています。ただ、今回はプリント学習ですので、上手に書いている人の作品をいくつか紹介します。ぜひ参考にしてください。

「追い討ちをかける」

◇立て続けに二人の子を失った千姫に、追い討ちをかけるような噂が広がった。

◇弱っているところに、追い討ちをかけるように敵が攻めてきた。

◇敵が疲弊しているところを、追い討ちをかけるように攻め込む。

◇不作の農家に、台風が追い討ちをかける。

◇道でつまずいた私に追い討ちをかけるように子どもがぶつかってきた。

◇課題が終わったと思ったら、追い討ちをかけるように母から勉強ドリルを渡された。

◇疲れている僕に、追い討ちをかけるようにおつかいをたのまれた。

◇重い荷物を持った帰り道、追い討ちをかけるように雨が降ってきた。

◇おぼれそうな僕に、追い討ちをかけるように波が押し寄せてきた。

「不意に」

◇晴天だった空が不意に暗くなったと思ったら、すごい雨が降りだした。

◇不意に家で飼っているペットのことが気になった。

◇商店街を歩いていたら、不意に声をかけられてビックリした。

◇まじめな話をしていたのに、彼女が不意に笑い出しので、あっけにとられた。

【成り行き】

◇予定も立てずに、成り行き任せの旅に出る。

◇ことの成り行きを説明する。

◇猫は窓から、外のけんかの成り行きを見つめている。

◇この状況では、成り行きを見守るしかない。

◇その時の成り行きで、私はその店の店長になった。

◇医師の息子は医師になる。政治家の息子は政治家になる。それらは全て自然な成り行きだ。人はあこがれていたものになろうとする。

また、対義語の問題（学習プリント第五回）では、「高い」の対義語「低い」と「安い」に、それぞれどのような違いがあるのかを小学校三、四年生にも分かる言葉で説明しましょうという課題を出しました。

絵や図を使って説明してくれた人や具体例を出して説明してくれた人もいました。この学習で多かった感想は、「頭の中にあることを、小さい子にも分かるように説明するのがとても難しかった」というものでした。自分よりも年下、知っている言葉も少ない相手にもどのように伝えたらいいのか悩みながら答えを一生懸命に書いている姿が浮かんできました。

【みなさんの答えより】

◇「高い」「低い」「富士山の頂上は高いけど、階段の一段目は低いよね。」

「高い」「安い」とり肉は安いけど、牛肉は高いよね。

◇「高い」「安い」の時は、「ものの値段」を比べている時に使うよ。「高い」「低い」の時は、「下から上までの高さ」や「温度」「位」を比べる時に使うんだ。

おなじ「高い」だけど、「高い」「安い」ではものの値段を、「高い」「低い」では色々なものの高さを比べているんだね。



【国語科通信第十一回 みんなの問題答え】

①理由 ②景色
①由来 ②色香
①経緯 ②色素
①理由 ②異色
①理由 ②↓色

【国語科通信第十一回 便覧問題答え】

①成城文士村（便覧付録「東京の文学」13ページ）
②福沢諭吉（便覧128ページ）
③マララ・ユスフザイ（便覧281ページ）